



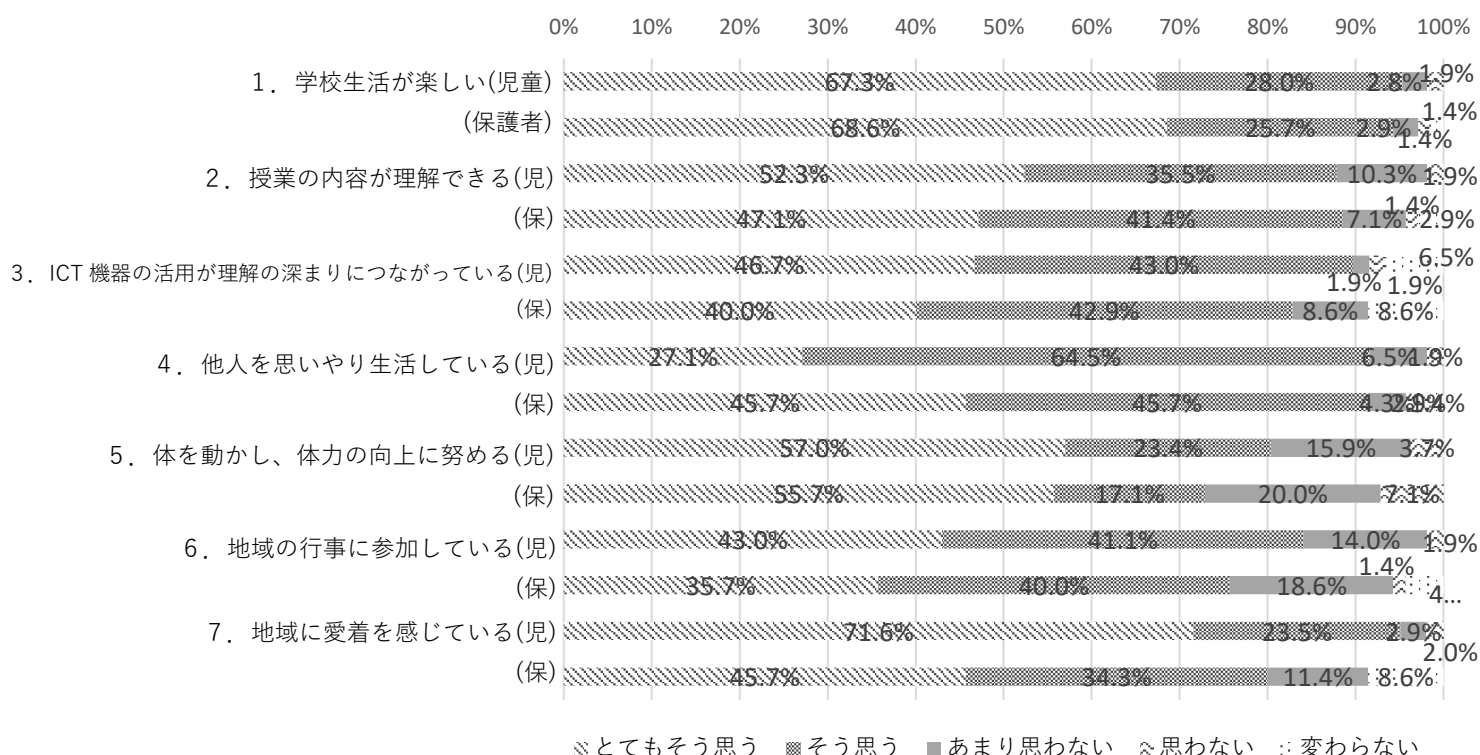
# 下久堅のたから

飯田市立下久堅小学校  
学校だより No.12  
令和5年2月20日

<http://simosc.ed.iidanet.jp/> 文責：会津

## 学校評価アンケートの結果を報告します

先日はご多忙の中、学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。このたび結果がまとまりましたので、ご報告いたします。



### 【考察】

- 「学校生活が楽しい」については、保護者及び児童の肯定的意見（「とてもそう思う」「そう思う」）が90%を超えており、おおむね学校生活には満足していることがうかがえます。コロナ禍において制約も多いですが、感染症拡大に十分配慮しながら友と学びあう学習を進めてまいります。
- 授業の内容の理解については、授業参観後のアンケートとあわせて考察したところ、「つける力や目標を明確にした授業を行っている」について肯定的な意見が多く見られました。引き続き、振り返りの中でどんなことができるようになったかを児童が自覚できるよう授業の改善を図っています。また、ICT機器の活用も積極的に進めており、一定の成果が見られるという評価をいただきました。従来の「書く活動」も大切にしながら、理解を深める工夫をしていきたいと考えます。
- 他人への思いやりについては、昨年度とほぼ同様の結果でした。様々な性格や特性をもち、得意分野がそれぞれ違う児童と一緒に生活する学校において、相互理解を通して「他人も自分も大切にする」という人権教育を進め、適時に指導を行っていきます。
- 体力の向上については、運動に親しんでいる児童とそうでない児童の差の開きが感じられます。体育の授業や普段の生活の中で体を動かす、体を使って表現するという活動の楽しさを味わえるような手立てを講じていきたいと考えています。

5. 地域とのかかわりについては、本年度も子丑会やひさかた和紙の会、ひさかた未来塾の皆様をはじめとする地域ボランティアの方にご協力をいただきました。下久堅の文化を守り次世代につなげようと尽力されている姿を拝見し、教職員も大いに学ばせていただきました。特に、児童向けのアンケート項目「あなたは学校の授業の中で、下久堅の人やものから多くのことを学んでいると思いますか。」で高学年の肯定的意見が100%となっており、地域に根差した学習が地域への愛着を深める要因の一つになっていると考えます。

#### 【自由記載欄より】

○タブレット学習が大変役に立っている。対面で学習できるのが一番であるが、学級閉鎖や自宅待機もタブレットでクラスの友達に会うことができ、授業も受けられるので、助かっている。

→「オンライン学習の日」を含めたご家庭でのサポートに厚く御礼申し上げます。ICT機器により児童の学びの機会が増えたことは事実ですが、従来の「書く活動」「話す活動」も重要であると考えます。学習内容や場面、児童の発達段階に応じてICT機器の効果的な使い方を検討してまいります。

また、休校等に備えた学習を見据え、来年度も「オンライン学習の日」を設けることを検討しています。

○コロナ禍で心配ごとが多い中ではあるが、学校行事を行ってくれることがありがたい。

→本校では「学びを止めない」という観点から感染症拡大対策（手洗いの励行、換気、マスクの着用、空間的ゆとりをもった上での活動など）を講じながら、できる限り児童が学びあう機会を設けてきました。また、学校からの積極的な情報発信・開かれた学校の一環としてホームページのこまめな更新を行っています。できるかぎり児童の学習の成果をご覧いただける機会を減らさないようにしていきたいと考えます。

●相談室など、多様な子どもの居場所がほしい。

→様々な個性が存在する学校生活においては我々大人が気づかないようなすれ違いやトラブルがあるかもしれません。学校で起きたできごとはまず事実を把握し、将来に向けての指導を行ってまいります。当面は保健室や職員室、特別支援教室等、子どもの実態に応じた空間で話を聞いたり気持ちを落ち着かせたりすることとなります。

#### 【その他】

児童に対しての教職員の振る舞い（指導の際の言葉遣い、行動等）についてのご意見もいただきました。学校教育法で禁止されている体罰、あるいは体罰と捉えられかねない行為を行わないよう、学校では教職員に向けた非違行為防止研修を計画的に位置づけています。また、我々教職員が児童を「人格をもった、権利の主体」であることを再認識するため、今回のアンケート結果を職員会議で扱い、事実を確認したうえで言葉遣いや行動にも十分注意するよう、意識の統一を図りました。

また、学校や学級の様子で不安や心配がある場合は可能な限り説明をし、保護者の皆様の協力を得ながら子どもたちを支援していきたいと考えていますので、どの教職員でも結構ですので、お知らせください。

# 霞はじめてたなびく 雨水の候



## 鬼は外 福は内

2月3日には低学年を中心に、節分に関係のある行事を行っていました。

1年生が節分の日に校長室と職員室を訪れ、豆まきをしてくれました。その後教室に戻り、「かたづけなないオニ」や「はなしをかかないオニ」など、それぞれの子どもが追出したいオニの作文を書いています。

少し上の学年では短冊に追出したいオニを書いて掲示しました。「人任せにするオニ」「わかっていても意見を言わないオニ」など、成長にしたがって心情が複雑になる様子が見えられました。

コロナ禍であっても、伝統的な行事は大事にしていきたいと思いました。



## 凧が空を泳ぐ日

ひさかた和紙の会の皆様のご指導をいただきながら、今年も子どもたちが和紙を作ることができました。

3年生は自分たちがすいた和紙で凧を作りました。ひさかた和紙の会のメンバーやボランティアの方にも協力いただき、子どもの個性が表された絵が凧へと変わっていきました。「引き解け結び」など、独特な糸の結び方などが難しかったようですが、大人や友だちにやり方を聞いたり、できた子どもが他の友だちを助けたりと、子どもたちは協力して凧を作ることができました。お手伝いして下さった方も童心に帰ったのではないのでしょうか。ありがとうございました。

子どもたちは「次の時間も凧を作りたい」などと、早く完成させて、校庭などで凧をあげたいようでした。私たちが青空の中で凧が高く泳ぐ日が来るのが楽しみです。



## 5年生へのバトンタッチ

児童会正副会長選挙が行われました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年度と同様、オンラインによる実施となりました。

最初に立会演説会です。推薦責任者の応援演説は、具体的な姿で立候補者のよさを伝えようとし、立候補者は「なかよし」「あいさつ」「楽しい」など、学校の理想的な姿を語り、その姿を実現させるためにしたいことをわかりやすく伝えました。国語をはじめとする日頃の学習の成果を感じることができました。

立会演説会の後は投票です。今回は児童会のメンバーとなる3年生も参加しました。児童会担当の先生の指示をよく聞いてタブレットを操作することができるなど、ICT機器が文房具のように子どもたちの学習に溶け込んでいることを感じました。

新しい正副会長が選ばれましたが、児童それぞれがよりよい学校のために活躍してくれることを願っています。



## 深雪せる日に

最大級の寒波が過ぎ去った翌日に雪が降りました。給食の後の昼休みに子どもたちが校庭に出てきました。雪合戦やサッカー、大きい雪玉づくり…お互いぶつかることなく、いろいろな学年が混ざって遊んでいました。後から来た子どももスッと遊びに混じることができるのがすばらしいと感じました。

深雪せる野路に小さき雀の跡

我こそ先に行かましものを

と詠んだのは、下伊那教育を支えた先達である林 芋村先生ですが、この日の校庭には無数の子どもの足跡が残っていました。無邪気に遊ぶ子どもたちを見たら、同じように芋村先生も嬉しくなったことでしょう。







## 3月の予定

- 1日(水) 発育測定(高) 地区児童会 一斉下校
- 2日(木) PTA 新旧部長引継会
- 3日(金) 6年生を送る会
- 6日(月) 年度末清掃(～14日) PTA 会計監査  
スクールカウンセラー来校日(午後)
- 9日(木) PTA 総会
- 13日(月) 5時間授業(～15日)
- 15日(水) 3学期終業式
- 16日(木) 卒業証書授与式・離任式
- 17日(金) 春休み(～4月5日)
- 24日(金) 児童登校(4・5年生)

### 「結いの日」について 3月19日(日) (毎月第3日曜日)

飯田市をあげての取り組みとして「わが家の結いタイム」(家族と一緒に過ごし心を通わせるひと時)という取組があります。

- ①みんなで話そう スイッチを切って
- ②ずくを出し みんなで お手伝い
- ③ひろげよう 親子の対話 読書から
- ④きもちよい 親子のふれあい あいさつから  
ご家庭での取り組みをお願いします。

## PTA 事務局より

### 「3月のPTA 関係行事について」

新型コロナウイルス感染症の拡大も心配されますが、現在のところ、3月9日(木)に参集しての開催とさせていただきます。ただし、議題については正副会長の承認と新役員の紹介、会計監査の報告が中心ですので、説明を簡略化するなど、短時間での実施とさせていただきます。

## お知らせ

### 「スクールカウンセラー相談日」

来月のスクールカウンセラーによる相談日時は都合により、年度当初にお知らせした日程から変更となり、3月6日(月)の14:30～になります。相談したいことがございましたら、学校(教頭)までお気軽にご連絡ください。

### 日常の風景より

業者さんが木の剪定をしてくださいました。周りの木々や岩などとの調和を瞬時に考えながら枝を払っている姿を見て、造園の奥深さと匠の技を感じました。

道路にかからないように、校庭西側脇の枝も落としてくださいました。



下久堅小学校ホームページも  
ご覧ください。

